



すさみ町 議会だより

第155号
2022.2.1



馬転坂から和深崎を望む

も く じ

12月定例会2P~3P

一般質問4P~6P

編集後記6P

発行・和歌山県すさみ町議会 編集・議会広報編集委員会

〒649-2621 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見 TEL0739 (55) 4808 FAX0739 (55) 2566

令和3年 第7回 12月定例会

会期 令和2年12月9日～12月17日 (9日間)

令和3年第7回すさみ町議会定例会に提出された案件は、報告案件1件、条例改正案件2件、町道路線認定案件1件、令和3年度補正予算案件4件で、すべて原案のとおり可決しました。また追加議案で動産の買入れに係る案件1件、令和3年度補正予算案件1件についても、原案のとおり可決しました。

なお、一般質問は、3名が登壇し、町長の考えをただししました。

報告案件

動産の買入れについて
(内容)
完全循環型トイレ2基の購入にあたり、議会の同意を求めらるるもの。

町道路線認定

町道路線の認定について
(内容)
新たに町道路線として上戸川河中線、立野ヒルズ3号線、立野ヒルズ4号線の認定を求めらるるもの。

条例改正

すさみ町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
(内容)
健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金及び加算金に係る条例の一部改正を行うもの。

補正予算

令和3年度すさみ町一般会計補正予算(第6号)について
(内容)
既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ73,022千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ48億58,855千円とするもの。
「歳入」主なもの
ふるさとづくり寄付金
76,500千円

過疎対策事業債

22,600千円

財政調整基金繰入金

△32,520千円

「歳出」主なもの

ふるさと納税業務委託

41,720千円

2トトラック購入費

6,500千円

道の駅すさみ周辺用地造成工事

2,800千円

障害者自立支援給付費国県負担金等過年度分返還金

6,632千円

ふるさとづくり基金積立金

9,654千円

国民健康保険事業特別会計操出金

△2,319千円

令和3年度すさみ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

(内容)
既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ151千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億76,870千円とするもの。

令和3年度すさみ町国保すさみ病院事業会計補正予算(第2号)について

(内容)
収益的収入では、新型コロナ

追加議案

動産の買入れについて
(内容)
令和3年度一般会計補正予算(第3号)で計上した観光施設管理備品(ビーチクリーナー)購入にあたり議会の同意を得るもの。

令和3年度すさみ町一般会計補正予算(第7号)について
(内容)
既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ19,030千円を追加し、歳入歳出予算額を歳入歳出それぞれ48億77,885千円とするもの。

臨時議会

11月30日に臨時議会が開催されました。会期は当日1日とし、提出された案件は条例改正案件1件、令和3年度一般会計補正予算案件1件で、すべて原案のとおり可決しました。

条例改正

すさみ町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について

(内容)

令和3年8月の人事院勧告のとおり、国家公務員の期末手当の引き下げが決まったことから、これに準じて議員及び職員等の給与改定等を行うため、条例の改正を行うもの。

補正予算

令和3年度すさみ町一般会計補正予算(第5号)について

(内容)

「子育て世帯臨時特別給付金事業」にかかるもので、既定の歳入歳出予算総額に歳入

歳出それぞれ19,900千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ47億85,833千円とするもの。



本会議を傍聴してみませんか!!

定例会は毎年、3月・6月・9月・12月に開かれます。議会開会日は、開会日前日の夕方に町内放送を行っております。

岡本議長表彰される(総務大臣表彰)



この賞は、議会議長として地方自治の振興・発展に寄与した功績に対し、総務大臣から表彰されました。12月議会の初日、会議に先立ち、受賞された岡本議長に表彰状の伝達式を行いました。伝達後、浦副議長と町長から祝辞があり、受賞した岡本議長が謝辞を述べました。

町政のここがききたい!

一般質問

掲載した内容は、議員が質問と答弁をまとめたものです。

脱炭素社会に向けた取り組みについて



堀谷 伸二

問 ゼロカーボンシティ宣言は行政として町内外に取り組む姿勢を見せる絶好の機会になるのでは。

答弁 町長 すさみ町では平成30年度に木質バイオマスエネルギー導入計画を作成しておりますが、宣言に当たっては、他の自然エネルギーの活用や地域住民、企業の意識醸成、気運の状況などをかんがみて行う必要があると思っております。県や周辺市町村などの情報共有や動向もあわせ、今後、宣言実施の有無を含めて検討してまいりたいと思っております。

問 ゼロカーボン宣言を機に目標を設定し、軌道に乗せるまでの期間限定でもいいので担当課もしくは担当職員を置く考えは。

答弁 町長 現在一人の職

員が幾つもの仕事をしている中で専従にするという事は難しいと思うが責任を持つ課を決めて調整を図っていけばよい。今よりも効果的に積極的にカーボンニュートラルに向けて取り組みことを約束させて頂きます。

問 道の駅周辺整備についてですが、一昨年、環境省の補助事業で、すさみ町木質バイオマス導入可能性調査を行い、それに基づいて「フェアフィールド・バイ・マリオート」に同じく環境省の再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業に採択され、チップポイラーを導入することができました。これは地域のエネルギーの地産地消のモデルとなる一連の事業として環境省の期待も大きいし評価も高いです。道の駅が防災道の駅として認定を受けたわけですから、自家消費型のバイオマス発電や太陽光・小風力の組み合わせで停電をしないエリアを作れば、防災の拠点として他にない最大の魅力ある施設になると思うがいかがでしょうか。

答弁 町長 道の駅は、南海トラフ巨大地震及びそれに伴う津波により壊滅的な被害を受けると想定される周辺地区の避難場所であり、緊急車両や支援物資等が集まる広域防災拠点で、国内で4カ所の重点防災道の駅に選定されています。ホテルに木質バイオマスポイラーが設置され、二酸化炭素排出削減と同時に林業活性化と燃料費削減が期待されます。現在は、温浴施設の熱供給に利用されているが、

今後、道の駅周辺の既存施設への熱源供給・農業分野への発展など関係機関と連携し活用を検討しています。SDGsやカーボンニュートラルの実現に向け、積極的なエコ対策が求められる現在社会において、自家消費型発電が注目されているので防災対策も含め前向きに検討して、出来ることから実施していけば良いと思います。



木質バイオマスチップボイラー

曲利残土処分場について



吉田 靖広

問 当初の計画では大鎌の残土処分場が間もなく残土の搬入が完了する為、和歌山県からの依頼により、処分場として曲利残土処分場が選定され、8月26日の全員協議会において用地買収は完了した旨の話がありました。現在の進捗状況と跡地利用は。

答弁 町長 令和元年5月に和歌山県より、県道すさみ古座線改良工事が発生する残土を処分する候補地を探してほしいとの依頼を受け、現場に近い曲利地区を選定しました。その後、地権者への意向調査と説明会を行い、令和2年9月議会に用地取得の予算を計上し可決。令和3年9月議会において契約についての議決を頂き全て所有権移転登記も完了しています。国や県の工事により造成地に適した

土砂であれば搬入を考えています。土砂搬入後の跡地利用については現在検討中です。
問 跡地利用については、災害有事も考慮し、自然も生かせるよう、有効活用しては

どうか。
答弁 町長 自然環境も整っている為、地元の皆さんや議会の意見を聞きながら、町内外から来ていただけるような、大人から子供まで楽しめるよう、はっきり目標を決めて造成に取り掛かりたい。



曲利残土処分場用地

林道整備について

問 森林の整備は地球の温暖化防止のみならず、災害防止や水源の涵養、地方創生や快適な生活環境の創出等に繋がります。数年前に佐本地区で森林火災が発生したことを踏まえ今後、土砂災害も考えられることから積極的に森林整備を行わなければなりません。そのため林道整備が必要と思うが。

答弁 町長 すさみ町には46路線もの林道が点在しており、森林整備や間伐、搬出等の目的で森林組合など林業事業者や、有害動物駆除の目的で猟友会会員などに利用されています。近年の大雨や台風の影響により、荒廃している林道もあります。定期的な見



林道広瀬谷線

回りや林道利用者の意見も聞きながら、修繕すべき林道の優先順位を決め修繕を行っています。

問 日本の温室効果ガス削減や災害防止等を目的に森林整備に必要な地方財源を安定的に確保するために森林環境税や、森林環境譲与税に関する法律が成立していますが、森林環境税は、令和6年から年間千円の増税となります。血税を有効利用できないか。

答弁 町長 現在すでに、環境譲与税を活用し、取り組んでいる所です。近隣の他市町村とも協力して、周遊にすることで林道ウォークやバイクで走って頂くようなことも提案しています。観光だけでなく、防災の面も含めて、出来ることから進めていきたい。

交通問題について



竹本 直美

問 すさみ南インターチェンジを利用するにあたり、江住の町道を往來する車が絶えない。狭い道路を大きな車が行き交うため、溝蓋や家屋の損壊などもでている。交通対策をどのように考えているか。

答 町長 速度制限表示板の設置や取り締まりの強化等、出来得る対策は行っているところ。今年度より側溝の整備工事も始めています。また、交通量を少なくするためカーナビでの道路案内をしないよう道路協会に要望書を提出しました。今後も地域住民が安全に通行できるように努めます。

問 町道の入り口にそれぞれ通り抜けることができないような表示を考えてはどうか。また、家屋の損壊したところを一度調査して、救済の制度

のようなものがあれば検討していただけないか。

答 町長 高速道路が南進することで、若干交通量が減ると思います。現状の中で少しでも町民を守るための対策を講じる以外にないと思います。

問 望見橋の拡幅について、2016年3月議会の岸議員の質問への答弁では、仮設橋梁などの工事を含めると多額な費用となることや、架け替え工事を進める上で今のところ困難であるとの答弁であったと思う。しかし、対応策を検討したいとも答えられた。改めて橋の拡幅を前向きに検

討していただけないか。

また、平日の一日の通行量を調べたところ、往來した車は915台、単車76台、自転車76台、歩行する人などは、47人となり、橋の手前で待ち合わせする車は、両側で81台。この橋の利用頻度は少なくはないと感じた。

答 町長 望見橋の拡幅とか、架け替えの必要性については執行部としても検討させていただきますが、今の橋を改築することは大変難しいと言っていることは前も今も変わらないと言っています。

問 コミュニティバスからデマンドタクシーへの移行に



コミュニティバス・望見橋

ついて。利用者の皆さんの声として、バス停に行くまでが

つらい、また、乗り換えて移動することは大変になっていくようだ。最近ではバスに乗る人が少なく、空で走っていることに町民の方から、もっ

たいないと言われるようになっていく。先の議会で紹介したように新宮市熊野川町で走っているデマンドタクシーへの移行を実現できないか。

答 町長 現在は利用者数の少ない路線においてデマンドバス運行への切り替えやデマンドタクシーの導入についての検討を行っております。

補聴器への補助について

問 制度の周知とその後の状況は。また、町として、補助制度をつくってはどうか。

答 町長 補装具支給制度の周知をして障害者手帳の取得を勧めています。新規利用者は令和3年度現時点で1名となっております。日常生活に補聴器が欠かせない方々を支援するため既存の制度利用の促進と平行して当町に見合った支援制度に取り組みます。

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。新春を迎えて1ヶ月が経ちました。昨年末より落ち着きを見せておりましたコロナウイルス感染状況でしたが、またもや猛威を振るっております。

2月4日は暦の上では立春です。もうしばらくすると梅の花が咲きはじめ、桜の花が咲く頃には春本番です。出会いと別れ、旅、行楽、収穫など私達の暮らしに訪れる様々な春の一幕が未曾有のコロナ危機で再三再四の自粛生活を余儀なくされそうです。

すさみ町議会では、これまでも国や関係機関に意見書を提出し国民の命と暮らしを守ることを最優先に、医療、経済、教育や生活などにおけるさまざまな対策や支援を求めて参りました。また町執行部と共に迅速で的確な対応に努めております。今月からは3回目のワクチン接種も始まります。明るい未来に向かってこの難局を共に乗り越えていただきますよう、もう一踏ん張りお願い申し上げます。「明けぬ夜はない」。

(広報編集委員長)